

Small Talk台本①（第2時・第4時のはじめ5分）

進め方（文科省の型）：帯活動として2時間に1回。6年はペアで伝え合うことを中心に、相手を替えて1～2分×2回。1回目のあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく**本当の気持ち・本当の出来事**を話す。

話題1 先生の行きたい国（第2時）

板書：I want to go to ～. You can see ～. [the Colosseum / pizza の絵カードを貼る]

T Hello! Look at the map. I want to go to Italy.

こんにちは！地図を見て。先生はイタリアに行きたいです。

T Why? You can see the Colosseum! (カードを見せて) It's exciting.

なぜかって？コロッセオが見られるから！わくわくします。

T And you can eat pizza. Yummy!

それに、ピザが食べられる。おいしそう！

T Where do you want to go? Talk with your partner. Change partners and go again!

みんなはどこに行きたい？ペアで話してみよう。相手を替えて2回！（1～2分×2回）

S I want to go to Australia. / Italy!

（国名だけでも、地図を指さすだけでもOK）

つまった子への助け舟：国名が出てこない子には絵カードを2枚見せて Italy? Or Australia? と選ばせる。指させたら Nice! Italy! で成立。

話題2 行きたい国と、その理由（第4時）

板書：Where do you want to go? — I want to go to ～. Why? — You can see ～. It's ～.

T Today, one more country. I want to go to Kenya.

今日はもう1つ。先生はケニアに行きたいです。

T Why? You can see lions! (ライオンのジェスチャー) It's exciting!

なぜかって？ライオンが見られるから！わくわくする！

T Now, ask your partner: Where do you want to go? And then ask Why?

次はみんなの番。「どこに行きたい？」と聞いて、そのあと「なぜ？」も聞いてみよう。（1～2分×2回・相手を替えて）

S I want to go to Australia. — Why? — You can see koalas. It's fun!

（Why? への答えは You can see ～. の1文で十分）

つまった子への助け舟：「行きたい国がない」と言う子には、絵カードを3枚ひろげて「この中でいちばん気になる絵は？」と聞く。絵が決まれば国が決まり、理由（You can see ～.）は先に手に入っている。



中間指導 1回目のあとに全体で（ことばの補給）

1回目のあとに全体で：「あいてに Why? と聞けた人？」→ 返す文は You can see ～. の1つでいいと確認し、先生が国名を言う→全員で You can see ～. を返す練習を30秒→2回目へ。

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello! / How are you?
くり返す	Soccer? Me, too!（あいての言葉をくり返す）
ひとこと感想	Nice! / Wow! / Really? / Good!
たしかめる	Pardon? / One more time, please.
さらに質問	How about you? / Why?
おわる	Thank you. / See you!

先生へ

- ・6年のSmall Talkはペアで伝え合うのが中心。先生の話は1分で切り上げ、ペアの時間を確保する
- ・「行ったことがある国」は絶対に聞かない。この単元が want to go でできているのは、海外経験のあるなしを土俵から外すため
- ・国名の発音に自信がなくて当然。ALTか音源に1回言ってもらい、先生は堂々とまねするだけでよい（子どもは先生のまねをする）